

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 9 月 22 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市神奈川区西神奈川1丁目13番地10

氏 名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部
神奈川県済生会
支部長 赤星 透

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電 話 045-423-2301

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1丁目13番地10
氏 名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	シヤカイフクシホウジンオンシザイダンサイセイカイシブカナガワケンサイセイカイヨコハマシナンブビョウイン
病院名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院

3 所在地

〒 234-8503 横浜市 港南区港南台三丁目2番10号 電話： 045-832-1111
--

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	500床	500床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u> 8 </u> 床 (主な設備) 人工呼吸器装置、補助循環装置(IABP)、体外式ペースメーカー、 除細動器、人工腎臓装置、血液浄化装置、心電計、心拍出量測定装置 等
化学検査室	(主な設備) 臨床化学自動分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、多項目自動血球分析 装置、全自動血液凝固測定装置、自動グリコヘモグロビン分析計、全自動尿分析 装置、全自動尿中有形成分分析装置、血液ガス分析装置
細菌検査室	(主な設備) 血液培養検査装置、自動細菌同定感受性検査装置、安全キャビネット
病理検査室	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、マイクローム 自動染色装置、自動免疫作製装置、プレパラート自動封入機、システム生物顕微 鏡、ディスカッション用顕微鏡、顕微鏡撮影装置、クリオスタット、臓器撮影装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、臓器写真撮影装置、御遺体用冷蔵庫
研究室	(主な設備) 電子カルテ端末、会議机(3人掛け)6台、椅子18脚
講義室	収容定員 <u> 100 </u> 人 室 数 <u> 2 </u> 室
図書室	室 数 <u> 1 </u> 室 蔵 書 数 <u> 3,500 </u> 冊程度 雑 誌 <u> 46 </u> 誌
救急用又は患者 搬送用自動車	保有台数 <u> 1 </u> 台 (内訳:) (主な設備)
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u> 18.55 </u> m ² 【共用室の場合】 <u> </u> 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	$①/② - (③+④+⑤)$	85.8%
	①紹介患者数	17,321人
	②初診患者数	31,221人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	1,795人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	8,124人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	1,123人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	$⑦/② - (③+④+⑤)$	103.8%
	⑦逆紹介患者数	20,952人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	166人	歯科医師	5人	看護師	46人
薬剤師	28人	臨床検査技師	37人	臨床工学技士	11人
診療放射線技師	29人	保健師	0人	看護補助者	0人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	8床
専用病床	8床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急センター	339.5 m ²	心肺蘇生装置、除細動機、人工心肺装置(PCP S)、心電計、超音波診断装置、ニューポートベンチレータ、生体情報モニタ 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
集中治療室	349.16 m ²	人工呼吸器装置、補助循環装置(IABP)、体外式ペースメーカー、除細動器、人工腎臓装置、血液浄化装置、心電計、心拍出量測定装置 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
一般XP撮影室	335.11 m ²	一般X線撮影装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT室	123.87 m ²	320列ヘリカルCT、80列ヘリカルCT	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
MRI室	136.1 m ²	1.5テスラMRI 2台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
心臓カテーテル室	169.88 m ²	循環器系X線診断装置 心肺蘇生装置、除細動機、人工心肺装置(PCPS)、心電計、生体情報モニタ 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術室	808.1 m ²	麻酔器、全身麻酔管理システム、人工心肺装置、電気メス、自己血回収システム、骨切用電動モーターシステム、手術用顕微鏡、術中用超音波診断装置 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	9,508人
	(6,656人)
上記以外の救急患者の数	6,790人
	(4,348人)
合計	16,298人
	(11,004人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	9,508人
B：救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,771,005人
$C : A / B \times 1,000 > 2$	2.5

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	63施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	63施設
医療機器共同利用件数	1,196件
共同利用病床数	2床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器					
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>		
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>		
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>		
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input type="checkbox"/>		
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>		
頸動脈超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>		
下肢静脈超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>	その他(骨シンチ・上肢静脈超音波・血圧脈波検査)	<input checked="" type="checkbox"/>		
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>
				会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有

無

【別紙1のとおり】

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	460施設

(注) 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注) 承認要件—開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注) 登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

【別紙2のとおり】

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	15回
(2) (1)の研修参加者数	373人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	104.40 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、電子カルテ端末、インターネット端末、マイク設備、会議机(3人掛け)30台、椅子100脚
研究室	24.70m ²	(主な設備) 会議机(3人掛け)6台、会議机(6人掛け)1台、椅子18脚
多目的室	68.48 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、マイク設備、会議机(3人掛け)16台、椅子45脚
スキルラボルーム	31.50 m ²	(主な設備) 静脈・採血注射モデル I 型、採血・静脈シミュレーター、吸引シミュレーター、経管栄養シミュレーター、肺蘇生シミュレーター、鏡視下縫合シミュレーター、輸液ポンプ、電子カルテ端末、インターネット端末、会議机(3人掛け)4台 等

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)		院長
管理担当者(役職名)		診療情報室長
保管場所		
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		<ul style="list-style-type: none"> ・病院日誌 総務課 ・各科診療日誌 各科外来 ・その他の諸記録 電子カルテ上で保管 ・診療情報提供書等の原本は診療情報室で保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域医療連携室
	閲覧実績	図書室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域医療連携室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	院長		
閲覧担当者(役職名)	診療情報室長		
閲覧の求めに応じる場所	診療情報室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>1. 第83回 地域医療支援委員会(2024年6月3日開催)</p> <p>①2023年度事業報告</p> <p>②診療科のご案内((消化器内科、皮膚科、心臓血管外科)</p> <p>2. 第84回 地域医療支援委員会(2024年10月 書面開催)</p> <p>①2024年度事業報告(第1四半期)</p> <p>3. 第85回 地域医療支援委員会(2024年11月25日開催)</p> <p>①2024年度事業報告(第2四半期)</p> <p>②手術支援ロボット導入のお知らせ</p> <p>③無痛分娩開始のお知らせ</p> <p>④地域医療連携室からの報告</p> <p>⑤地域医療支援委員会の開催方法について</p> <p>4. 第86回 地域医療支援委員会(2025年3月 書面開催)</p> <p>①2024年度事業報告(第3四半期)</p> <p>②乳腺外科初診外来完全予約制のお知らせ</p> <p>③認知症外来開設のお知らせ</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

<p>患者相談を行う場所</p>	<p>相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>「その他」記入欄 がん相談支援センター、かかりつけ医案内コーナー</p>
<p>主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)</p>	<p>福祉医療相談室 MSW 看護相談室 看護師 入退院支援センター 看護師 MSW(兼務) がん相談支援センター 看護師 MSW(兼務) 地域医療連携室 事務員</p>
<p>患者相談件数</p>	<p>12,433件</p>
<p>患者相談の概要</p>	
<p>1 福祉医療相談室</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 経済問題調整 (2) 診療費減免(無料低額診療事業) (3) 心理・情緒問題調整(不安・葛藤等) (4) 転院支援(リハビリ・療養目的等) (5) 就労支援(両立支援・復職支援等) (6) 外国人支援 (7) 在宅療養支援 (8) 受診・入院相談(当院への受診・入院依頼調整) (9) 通院上の問題(療養の不適応・疑問・不安・院内システム等) (10) 家族問題調整(家族関係・家族の抱える問題等) (11) 福祉制度の利用(身障手帳・精神障害者福祉手帳など) (12) 生活保護調整 (13) 保険・年金制度の利用(高額療養費、障害年金等) (14) 福祉制度の利用(障害者、難病等) (15) 養育問題 (16) 虐待 (17) 権利擁護 (18) 苦情 (19) その他 <p>2 看護相談室・がん相談支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 病気に関すること (2) 治療に関すること (3) 症状緩和に関すること (4) 日常生活に関すること (5) 療養の場の選択に関すること (6) 医療者の相談 (7) 家族のケア (8) その他 	

3 患者サポート室

- (1) 疾病や治療に関すること
- (2) 療養生活に関すること
- (3) 通院・入院全般に関すること
- (4) 医療安全に関すること
- (5) その他

4 地域医療連携室

- (1) 患者さんの自宅付近の医療機関の案内
- (2) 患者さんにあった専門医療機関の案内
- (3) セカンドオピニオンに関すること
- (4) 医療制度に関すること
- (5) その他

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 病院機能評価 3rdG:Ver.3.0 2024年10月4日 認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	1. ホームページ(随時) 病院概要、受診方法、診療科案内、診療実績、トピックス等 2. 一般向け広報誌「なんぶメール」(年2回) 紙面市民講座、診療科・部門紹介、病気について、イベント情報等 3. 連携医療機関向け各種案内状(随時) 地域医療連携研修会の報告、診療体制変更等のお知らせ、共同利用機器案内等 4. その他 市民公開講座・出張講座等の実施、医療機関訪問等	

3 退院調整部門

退院調整部門の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	人員:退院支援担当看護師、退院支援担当MSW 毎週病棟ラウンドを行い、退院調整支援が必要な患者の把握および患者情報を患者情報シートの運用により円滑な退院調整・支援を実施している。 在宅訪問医、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等との連携強化を図っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	脳卒中・大腿骨頸部骨折(回復期リハビリテーション病院への転院) 胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん・前立腺がん (入院治療後の診療連携クリティカルパス)	
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	地域医療連携研修会で協力の依頼(連携先拡大) 連携医療機関向け案内状や訪問による広報	

済生会横浜市南部病院 共同利用制度運営要領

制 定 平成 15 年 4 月 25 日

最近改正 平成 30 年 7 月 1 日

第 1 総 則

1 目 的

この要領は、済生会横浜市南部病院（以下「病院」という。）の施設又は医療設備を横浜市港南区、中区、南区、磯子区、金沢区、栄区及び戸塚区（以下「地域」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

2 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次の 4 種類とする。

- (1) 紹介患者診療型共同利用
- (2) 医療器械利用型共同利用
- (3) 研究部門利用型共同利用
- (4) 研修会等参加型共同利用

3 紹介患者診療型共同利用等を利用する医師等の遵守事項

紹介患者診療型共同利用、医療器械利用型共同利用を利用する登録医又は登録歯科医（以下「登録医等」という。）は、病院内においては次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、地域医療連携室で受付をしてから利用する。
- (2) 第 2 の 5 により発行された登録医証又は登録歯科医証を必ず着用する。
- (3) 病院内の諸規則を遵守する。

4 報酬等

- (1) 共同利用制度を利用する登録医等に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。
- (2) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

第 2 医療機関等の登録

1 事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

2 登録名

共同利用制度の利用登録名は、医療機関名又は保険薬局名をもって登録するものとする。

3 登録の対象医療機関等

共同利用制度において登録できる医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）は、横浜市港南区、中区、南区、磯子区、金沢区、栄区及び戸塚区に所在する医療機関等とする。

4 登録の申請

- (1) 共同利用制度の利用登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により病院長に申請するものとする。
- (2) 病院長は、申請内容を審査し利用登録を承認した場合は、「共同利用制度登録機関名簿」にその登録機関の名称、所在地、共同利用制度を利用する医師又は歯科医師の氏名等を登録するものとする。

- 5 登録医証、登録歯科医証及び登録機関証の発行
 - (1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関の登録医又は登録歯科医に対しては、登録医証又は登録歯科医証を発行する。
 - (2) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関又は保険薬局に対しては、登録機関証を発行する。
- 6 登録内容の変更
 - (1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された登録医等を追加するなどその内容を変更する場合には、「共同利用制度変更登録申請書」によりその変更を行うものとする。
 - (2) 変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。
- 7 登録医証等の返還
登録の必要がなくなった医療機関等は、病院長に対しその旨申し出をし、登録医証、登録歯科医証及び登録機関証を返還しなければならない。
- 8 登録の取消
登録医等に医師又は歯科医師としての品位を損するような行為のあったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為のあったときも同様とする。

第3 紹介患者診療型共同利用

- 1 紹介患者診療型共同利用の内容
地域医療機関から紹介され入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。
- 2 利用できる対象者
当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。
- 3 共同利用のための専用病床
当該共同利用のための専用病床として2床を確保する。
- 4 事前調整
紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ地域医療連携室に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第4 医療器械利用型共同利用

- 1 医療器械利用型共同利用の内容
地域医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが病院内の医療器械を共同利用することにより、検査後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした共同利用をいう。
- 2 利用できる対象者
当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。
- 3 対象医療器械
当該共同利用として利用できる医療器械を使用して行う検査は、別表のとおりとする。

4 事前調整

検査目的で紹介した患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ地域医療連携室に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第5 研究部門利用型共同利用

1 研究部門利用型共同利用の内容

病院の研究部門の機能を登録医療機関等の医療従事者のために開放し、登録医療機関等の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要によりその研究活動に対し互いに連携し、その研究活動を進めるもので、地域医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる地域医療従事者は、登録された医療機関等に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる共同部門は、図書室とする。

4 利用時の手続等

- (1) 図書室の利用にあたっては、登録医証、登録歯科医証又は登録機関証を提示し、当該室所定の手続を行って利用するものとする。
- (2) 図書室の利用については、個人情報以外の情報等に限るものとする。

第6 研修会等参加型共同利用

1 研修会等参加型共同利用の内容

病院が行う研修研究活動を地域の医療従事者に開放し、地域医療従事者とともに連携しながら研修研究活動を進めるもので、地域医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる地域医療従事者は、地域の医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研修会等

当該共同利用のために利用できる研修会等は、次のとおりとする。

- (1) 公開 CPC、月例 CPC、臨床カンファレンス、学術講演会その他これに類する研修研究活動
- (2) 病院各診療科が開催する各科症例検討会、研究会又はこれに類する研修研究活動
- (3) 病院の看護部、医療技術部門又はその他の部門が開催する研修研究活動
- (4) 記念的行事として行われる講演会その他これに類する研修研究活動

4 利用時の手続

当該共同利用により開催される研修会等を利用しようとする地域医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項を記入するものとする。

附 則

(施行日)

- 1 この要領は、平成 15 年 4 月 25 日から施行する。
- 2 この要領は、平成 30 年 7 月 1 日から施行する。

別表

第4 医療器械利用型共同利用－3 対象医療器械

対象検査名

(1) CT
(2) 冠動脈 CT
(3) MRI
(4) 骨シンチ
(5) 心臓超音波
(6) ホルター心電図
(7) 下肢静脈超音波
(8) 頸動脈超音波

共同利用制度登録申請書

年 月 日

済生会横浜市南部病院共同利用制度運営要領の規定に基づき、共同利用制度を利用する医療機関等としての登録を申請します。

登録する 医療機関 又は保険 薬局	所在地	〒 —			
	名称				
	代表者氏名				
	電話番号				
	F a x 番号				
	E - m a i l				
共同利用 制度を利用する医 師又は歯 科医師の 氏名等	1	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	2	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	3	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	4	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	5	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
※病院事務処理欄					

共同利用制度変更登録申請書

年 月 日

済生会横浜市南部病院共同利用制度運営要領の規定に基づき、共同利用制度の登録内容を変更したいので申請します。

登録する 医療機関 又は保険 薬局	所在地	〒 —			
	名称				
	代表者氏名				
	電話番号				
	F a x 番号				
	E - m a i l				
共同利用 制度を利用する医師又は歯科医師の 氏名等	1	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	2	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	3	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	4	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	5	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
※病院事務処理欄					

登録医証

登 録 医	
医療機関名	
医師名	
医療機関住所	済生会横浜市南部病院

登録歯科医証

登 録 歯 科 医	
医療機関名	
歯科医師名	
医療機関住所	済生会横浜市南部病院

登録機関証

登 録 機 関	
機関名	
住 所	済生会横浜市南部病院

2024年度 地域医療従事者に対する研修実績

地域医療連携研修会

実施月日	時 間	場 所	研 修 テ ー マ	講 師	参加者数
7月11日	19:00~20:30	講義室	第128回 カリキュラムコード: 15(臨床問題解決のプロセス)・28(発熱)・30(頭痛) 「患者さんに優しい、全身管理。ついでに、論文でも発表」 「血管炎の臨床」 「脳動脈瘤の治療」	糖尿病・内分泌内科 リウマチ・膠原病内科 脳神経外科	院外 9名 院内 21名
9月12日	19:00~20:30	講義室	第129回 カリキュラムコード: 4(医師-患者関係とコミュニケーション)・27(黄疸)・19(身体機能の低下) 「アトピー性皮膚炎の最新治療とShared Decision Making」 「閉塞性黄疸に対する最新のマネージメント」 「体力」	皮膚科 消化器内科 リハビリテーション科	院外 11名 院内 34名
11月14日	19:00~20:30	講義室	第130回 カリキュラムコード: 6(医療制度と法律)・65(排尿障害)・59(背部痛) 「遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)診断における 当院と横浜市の取り組み」 「泌尿器科領域におけるロボット支援手術」 「胸背部痛だけじゃない急性大動脈解離」	乳腺外科 泌尿器科 心臓血管外科	院外 9名 院内 26名

2024年度 地域医療従事者に対する研修実績

その他

実施月日	時間	場所	研修テーマ	講師	参加者数
6月17日	18:00～18:50	講義室	2024年度 第1回感染防止対策合同カンファレンス 1. ディスカッション ①抗菌薬投与中の血培提出の事例について ②MRSA・ESBL等検出時の電子カルテ上のアイコンについて ③感染症発生状況について ④抗COVID-19薬投与時の検査の必要性について ⑤MRSA等感染症患者の陰性確認について ⑥抗菌薬の使用状況について ⑦MRSA検出状況や抗菌薬の感受性率について 2. その他 ・2024年度感染防止対策合同カンファレンス開催予定について	参加病院 朝倉病院 長田病院 関東病院 港南台病院 横浜医療福祉センター港南 堀越医院(港南区医師会) 黒沢クリニック 矢崎小児科 港南区福祉保健センター 済生会横浜市南部病院	院外 28名 院内 10名
7月24日	19:00～20:30	ハイブリット開催 講義室 ・ ZOOM配信	第41回横浜市南部病院小児科医療連携集談会 演題発表～南部病院に紹介された患者さんを中心に～ ①「胸痛を主訴に紹介受診した巨赤芽球性貧血の1例」 ～いそご内科・呼吸器内科 先生よりご紹介～ ②「持続する斜頸から診断に至った小脳部腫瘍の1例」 ～ふくお小児科アレルギー科 先生よりご紹介～ ③「乳幼児健診でみつける小児神経疾患」	済生会横浜市南部病院 小児科・新生児内科 座長 小児科・新生児内科 小児科・新生児内科 小児科・新生児内科	院外 25名 院内 8名
8月27日	19:00～20:00	ハイブリット開催 講義室 ・ ZOOM配信	第1回 横浜市南部地区 消化器疾患連携会 ①「当院における大腸憩室出血のマネジメント」 ②「直腸癌治療の最前線と当科の治療方針」	済生会横浜市南部病院 消化器内科 司会 外科 演者 外科 司会 外科 演者	院外 22名 院内 22名
8月29日	17:30～19:00	ハイブリット開催 研修棟2F 会議室 ・ ZOOM配信	医療倫理セミナー2024 「明日からできる！みんなが話せる倫理カンファレンス」 ～堅苦しく・難しく・緊張する倫理カンファレンスから抜け出すためのいい話～	岩手保健医療大学 教授 日本臨床倫理学会理事	院外 17名 院内 73名
9月20日	18:00～19:00	講義室	2024年度 第2回感染防止対策合同カンファレンス・新興感染症訓練 1. 感染防止対策合同カンファレンス ①感染症の発生状況や薬剤耐性菌分離状況について ②抗菌薬使用量等について 2. 新興感染症訓練 ・麻疹発生時の対応について(机上訓練・グループ演習)	参加病院 朝倉病院 長田病院 関東病院 港南台病院 横浜医療福祉センター港南 堀越医院(港南区医師会) 黒沢クリニック 矢崎小児科 くすのきクリニック 港南区福祉保健センター 済生会横浜市南部病院	院外 24名 院内 10名

実施月日	時 間	場 所	研 修 テ ー マ	講 師	参加者数
12月9日	17:30～19:00	ハイブリッド開催 研修棟2階 会議室 ・ ZOOM配信	2024年度 救急定期症例検討会 症例1:「急性発症の腹痛で受診した76歳女性の1例」 症例2:「院外CPA患者が社会復帰した一例」 症例3:「高度腎機能障害に対して高用量のグリベミリドの投与で低血糖をきたした1例」 症例4:「小児の窒息」 症例5:「蜂刺創により発生した多数傷病者案件」	港南消防署 南部病院 初期研修医2年 港南消防署 南部病院 循環器内科 磯子消防署 南部病院 糖尿病・内分泌内科 南部病院 小児科・新生児内科 戸塚消防署 南部病院 救急診療科	院外 41名 院内 34名
12月11日	19:00～20:25	講義室	第42回横浜市南部病院小児科医療連携集談会 演題発表～南部病院に紹介された患者さんを中心に～ ①「下肢の疼痛で発症した壊血病の3歳男児」 ②「腹痛から発症した急性陰嚢症の2症例」 ～上大岡はやし泌尿器科クリニック 先生よりご紹介～ ～ふくお小児科アレルギー科 先生よりご紹介～ ③「当院において入院加療をしたマイコプラズマ感染症の検討」	済生会横浜市南部病院 小児科・新生児内科 座長 小児科・新生児内科 小児科・新生児内科 小児科・新生児内科	院外 10名 院内 9名
12月16日	18:00～19:00	講義室	2024年度 第3回感染防止対策合同カンファレンス 1. ディスカッション(職種ごとの分科会) (医師) ①感染症の発生状況について ②抗菌薬の使用状況について (看護師・保健師) ①感染症発生状況と院内感染対策について ②手指消毒剤使用量について ③感染性胃腸炎に使用する消毒薬について (薬剤師) ①抗菌薬の使用状況の推移、系統ごとの使用割合等について ②細菌検査の実施状況や検出菌について (臨床検査技師) ①細菌検査の実施状況や検出菌について ②感染症発生状況について ③手指消毒剤使用量について 2. その他 ・2024年度院内感染対策研修のご案内	参加病院 朝倉病院 長田病院 関東病院 港南台病院 横浜医療福祉センター港南 堀越医院(港南区医師会) 黒沢クリニック 矢崎小児科 くすのきクリニック 港南区福祉保健センター 済生会横浜市南部病院	院外 22名 院内 10名
2月21日	18:00～19:30	ハイブリッド開催 講義室 ・ ZOOM配信	第2回感染対策研修会 「感染症ブラチナ特講2025 院内の感染症の診かた」	埼玉医科大学医療総合センター 総合診療内科・感染症科 教授	院外 15名 院内154名

実施月日	時 間	場 所	研 修 テ ー マ	講 師	参加者数
3月13日	19:00~20:20	ハイブリッド開催 講義室 ・ teams配信	循環器内科 病診連携研究会 1. 基調講演 「最新の不整脈治療」 2. ディスカッション 「これからの地域医療連携」 ①円滑な病診連携をどのようにして行うか？ ②かかりつけ医の立場で心房細動予防・リスク管理をどのように行うか？	済生会横浜市南部病院 循環器内科 循環器内科 豊福医院 ディスカッションコメンテーター くすのきクリニック 院長 かわぐち消化器内科 院長 櫻井医院 院長 中央通クリニック 院長	院外 21名 院内 5名